



# 分科会発表まとめ

藤岡地方ユネスコ協会 会長 岸 正博

## 分科会基本方針

- ①分科会数は4、各分科会発表数は2
- ②各分科会で群馬は一つ発表する
- ③分科会発表は、「提案」型とする

この三点を基本方針とした。例年より一か月早く開催した関東ブロック・ユネスコ連絡協議会代表者会議で、「提案」型発表については、「今までは、経過発表がほとんどであり、現象が全ての発表が多い。今までの大会で議論されてきたことを踏まえ、そこから発表させたい」など、賛同を得た。

「コーディネーター」を中心に、発表、協議を進めることによって、分科会内容が提案型になるよう留意した。

## 分科会趣旨

### 第一分科会 世界遺産・地域遺産

「ユネスコ」といえば、「世界遺産」である。しかし、民間ユネスコが世界遺産にどうかかわっているのか、明確でない部分も多い。伝統文化の継承、世界遺産・地域遺産活動をどうしていったらよいか、民間ユネスコとして何ができるかを提案する。

### 第二分科会 ESD・ユネスコスクール

二〇一四年は、UNESCOが国連の主導期間となっている「持続可能な開発

のための教育の十年」最終年である。この機会にESDの視点から、日頃のユネスコ活動の可能性をとらえ直し、ユネスコスクールの活動を提案する。ユネスコスクールやESDパスポート実践校からの提案を行う。

### 第三分科会 異文化理解・国際交流

グローバル化社会のなかで、いま、共に生きる世界を目指し、人と人、地域と地域とを、世代や国境を越えて結びつけていく活動を積極的に展開することが求められている。共に生きる世界を目指す民間ユネスコの活動を提案する。

### 第四分科会 ユネスコ活動運営・活性化

民間ユネスコ協会の組織・運営や活動について、各ユネスコ協会での実践から課題を整理し、これからの民間ユネスコの組織・運営・活動について提案する。日ユ協連と各協会との関係、青年ユネスコ活動を困難にしているものは何か、活発にしたいためにはどうしたらよいかなどを提案する。



分科会での発表



分科会受付の皆さん



分科会報告の様



発表者との意見交換